

Press Release  
2023年7月  
名古屋市美術館

2023年9月23日（土・祝） - 11月19日（日）

特別展「開館35周年記念 福田美蘭—美術って、なに？」を開催します！



福田美蘭《松竹梅》2017年、アクリル・パネル、千葉市美術館蔵

福田美蘭（1963-）は、東京藝術大学大学院を修了後、具象絵画の登竜門といわれた安井賞を最年少で受賞し、国内外で活躍を続ける現代美術家です。現代社会が抱える問題に鋭く切り込み、ときにユーモアを添えて絵画化して見せたり、意識して「もの」を見ることを促したり、東西の美術、日本の伝統、文化を、意表を突くような手法であらわしたりして、私たちの既成概念を打ち破ってきました。そして現在も、絵画の新たな可能性に挑み続けています。

本展では、1980年代の初期から近年までの作品を、作家を紹介する序章および3章の計4章で構成します。古今東西の名画に福田ならではのユニークな視点で向き合った作品から、国内外の時事問題をテーマに鋭い視点で切り込んだ作品まで、約50点で福田美蘭の世界観を紹介します。本展のために新たに制作された、現在の世界情勢を映した新作も公開予定です。

名古屋市美術館では、1992年に福田美蘭と森村泰昌の二人を迎えて展覧会を開催しました。本展は当館にとっては約30年ぶりの機会であり、福田の個展としては中部地域初となります。常に私たちの視覚、思考を刺激し、常識を覆すような見方や楽しさに気づかせてくれる福田美蘭の作品は、混沌とした時代を迎えている現代を生き抜く知恵とエネルギーを与えてくれるでしょう。

## 展覧会のみどころ

### 1. 名画って、なに？ 知っているつもりでも……



福田美蘭《ポーズの途中で休憩するモデル》2000年、アクリル・パネル、富山県美術館蔵

《モナ・リザ》に《種をまく人》、《見返り美人図》……。どこかで一度は目にしたことがある世界的な“名画”に、福田はユニークな視点で迫ります。モナ・リザといえば、姿勢を正し、斜めに構えて正面を見つめたあの微笑を、誰もが思い浮かべることでしょう。そんなモナ・リザだって画家の前を離れれば、緊張から解放されてゆったりと横たわっているかもしれない。そのような想

像から生まれたのが《ポーズの途中で休憩するモデル》(2000年)です。名画を“名画だから”というだけで絶対的なものと考えるのではなく、前後の場面を想像したり、異なる視点から見たらどんなふうに見えるのかを考えてみたりすることで、より自由に楽しむことができます。知っているつもりだった名画の世界に、新しい景色を発見できるかもしれません。



左：福田美蘭《ミレー“種をまく人”》2002年、アクリル、ピエゾグラフ印刷・特殊紙、山梨県立美術館蔵

右：福田美蘭《幼児キリストから見た聖アンナと聖母》1992年、アクリル・パネル、高松市美術館蔵

## 2. 絵画が折りたたまれたら……？！



開いてみると…



福田美蘭《開ける絵》2000年、アクリル・パネル、額縁、鉄、ゴムバンド、作家蔵

額縁は平らで壁に平行にかかり、展示室では作品に触れることは禁じられている—美術館で展示される作品には、作品保全の観点からさまざまな制約が課されており、私たちはそうしたルールを守って鑑賞しています。ある側面では、こうした制約が美術を“難解”で“敷居が高い”ものというイメージをつくっていると言えなくもありません。福田は、こうした固定観念を覆す作品を制作します。《開ける絵》では、キャンヴァスは折りたたまれていて、鑑賞者が自分の手で開けないと、絵を見ることはできません。ふだん、美術館で絵画を見るという行為は、受動的になりがちです。福田は、主体的に鑑賞するとはどういうことかという問いを投げかけているのです。

### 3. 時代を映す絵画



左：福田美蘭《ゼレンスキー大統領》2022年、アクリル・パネル、練馬区立美術館蔵

右：福田美蘭《世界貿易センタービルの展望台》2008年、アクリル・パネル、富山県美術館蔵

アメリカの同時多発テロ事件、東日本大震災、新型コロナウイルス感染症の拡大など、現代社会では世界を揺るがすできごとが続いています。そんな混沌とした世界を生き抜くうえで必要なのは、ものごとを冷静に見極める力です。福田は、さまざまな社会問題を注意深く見つめ、分析し、絵画化していきます。メディアが多様化し、映像やSNSが多大な影響力をもつようになった現代において、絵画だからこそできる表現で、私たちの社会が抱える矛盾や難題を浮き彫りにします。人間が手で描く絵画は、現代においては究極のアナログともいえる手段ですが、確かな技量と深い洞察によって、福田の作品は説得力をもって問いかけます。

## 展覧会概要

- (1) 展覧会名 開館 35 周年記念 福田美蘭—美術って、なに？
- (2) 会 期 令和 5 年 9 月 23 日(土・祝)～11 月 19 日(日) (58 日間)  
休館日：月曜日(10 月 9 日は開館)、10 月 10 日(火)  
開館時間：9:30～17:00、11 月 3 日を除く金曜日は 20:00 まで  
※入場は閉館 30 分前まで
- (3) 会 場 名古屋市美術館 (名古屋市中区栄 2-17-25 芸術と科学の杜・白川公園内)  
TEL：052-212-0001 FAX：052-212-0005
- (4) 主 催 名古屋市教育委員会・名古屋市美術館、中日新聞社、東海テレビ放送
- (5) 後 援 JR 東海、名古屋市立小中学校 PTA 協議会
- (6) 協 賛 DNP 大日本印刷
- (7) 協 力 名古屋市交通局、国際デザインセンター
- (8) 入 場 料 一般 1,500(1,300)円、高大生 1,100(900)円、中学生以下無料  
※ ( ) 内は前売及び 20 人以上の団体料金
- (9) 関連催事 作品解説会などを予定しています。詳細は展覧会公式サイトにてお知らせします。
- (10) 公式サイト <https://static.chunichi.co.jp/chunichi/pages/event/fukudamiran/>
- (11) 展覧会構成
- 序章 福田美蘭のすがた  
《志村ふくみ《聖堂》を着る》他
- 第 1 章 名画—イメージのひろがり  
《ポーズの途中で休憩するモデル》、《ゴッホをもっとゴッホらしくするには》他
- 第 2 章 名画—視点を変える  
《幼児キリストから見た聖アンナと聖母》、《帽子を被った男性から見た草上の二人》他
- 第 3 章 時代を見る  
《世界貿易センタービルの展望台》、《ゼレンスキー大統領》他

## 特別展「開館 35 周年記念 福田美蘭—美術って、なに？」広報用画像の提供について

特別展「開館35周年記念 福田美蘭—美術って、なに？」をご紹介いただく際の広報用画像を提供いたします。下記注意事項をご確認の上、専用フォームにより申請してください。

広報用画像提供依頼専用フォームはこちら→<https://logoform.jp/form/mX9C/279394>



### ● 展覧会をご紹介いただく場合

- ・ 本展をご紹介いただく場合、記事・番組内容について情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で校正を下記問い合わせ先までメールにてお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。
- ・ 掲載・放送後は、掲載紙・誌、または同録データもしくは DVD 等を 1 部お送りくださいますようお願いいたします。WEB サイトの場合は、掲載時に URL をお知らせください。

### ● 画像掲載について

- ・ 画像の使用は本展を紹介する場合に限らせていただきます。展覧会終了後の放送・掲載はお断りします。また本展会期中であっても、再放送や転載をされる場合はご連絡ください。
- ・ ご使用の際は、指定のキャプションの併記をお願いします。
- ・ 画像はすべて全図で使用してください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・ 以上の点にご留意いただけない場合、所有者などとの間にトラブルが生じることがあります。その場合、主催者側では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- ・ 画像は原則データでの送付とさせていただきます。必ずメールアドレスをご記載ください。

### ● 読者プレゼントの提供について

- ・ 本展をご紹介いただく場合、ご希望があれば本展招待券を貴媒体読者プレゼント用に提供します(5 組 10 名様まで)。専用フォームにてお申し込みください。

### ● 展覧会の取材・撮影について

- ・ 本展の取材・撮影をご希望の場合は事前にご連絡ください。ご連絡がない場合、お断りすることがあります。

### 【広報に関するお問い合わせ】

名古屋市美術館（広報担当：小出）

〒460-0008 名古屋市中区栄 2-17-25 TEL：052-212-0001 FAX：052-212-0005

メール：y.koide.11@city.nagoya.lg.jp

特別展「開館 35 周年記念 福田美蘭—美術って、なに？」 広報用画像一覧

画像	キャプション	画像	キャプション
1 	福田美蘭《志村ふくみ《聖堂》を着る》2004年、アクリル・パネル、滋賀県立美術館蔵	8 	福田美蘭《開ける絵》2000年、アクリル・パネル、額縁、鉄、ゴムバンド、作家蔵
2 	福田美蘭《ポーズの途中で休憩するモデル》2000年、アクリル・パネル、富山県美術館蔵	9 	福田美蘭《世界貿易センタービルの展望台》2008年、アクリル・パネル、富山県美術館蔵
3 	福田美蘭《ゴッホをもっとゴッホらしくするには》2002年、(絵画)アクリル・パネル(額)カラーコピー・フォームボード、紙、大原美術館蔵	10 	福田美蘭《松竹梅》2017年、アクリル・パネル、千葉市美術館蔵
4 	福田美蘭《ミレー“種をまく人”》2002年、アクリル、ピエゾグラフ印刷・特殊紙、山梨県立美術館蔵	11 	福田美蘭《ゼレンスキー大統領》2022年、アクリル・パネル、練馬区立美術館蔵
5 	福田美蘭《見返り美人 鏡面群像図》2016年、アクリル・パネル、平塚市美術館蔵		
6 	福田美蘭《幼児キリストから見た聖アンナと聖母》1992年、アクリル・パネル、高松市美術館蔵		
7 	福田美蘭《帽子を被った男性から見た草上の二人》1992年、アクリル・パネル、高松市美術館蔵		

## 展覧会紹介文例

---

### 【50 文字程度】

中部地方では初の福田美蘭の個展。時事問題や古今東西の名画を題材にした約 50 点を展示。新作も披露予定。

### 【100 文字程度】

中部地方では初となる現代美術家・福田美蘭の個展。時事問題や古今東西の名画を題材に、固定観念を覆す鋭い視点で、ときにユーモアを添えて表現する。名古屋市美術館所蔵品から着想した新作も展示予定。

### 【200 文字程度】

中部地方では初となる現代美術家・福田美蘭の個展です。同時代の社会が抱える問題や、古今東西の名画を題材に、固定観念を覆すような鋭い視点で、ときにユーモアを添えて表現します。名古屋市美術館の所蔵作品から着想した新作も展示予定。私たちの思考を刺激し、混沌とした現代を生き抜く知恵とエネルギーを与えてくれる福田美蘭の世界を、どうぞお楽しみください。